

近畿植物学会 第13回講演会

日時：2024年11月16日（土）13:00～17:30

会場：神戸大学瀧川記念学術交流会館・大会議室

プログラム

12:00 開場・受付開始

13:00 開会および総会

特別講演：1 演題 30 分（13:20～14:20）

座長：深城 英弘（神戸大・院・理）

13:20 海洋性珪藻の無機炭素利用戦略 ～海で光合成するために～

○嶋川 銀河（神戸大・院・農）

13:50 ハマウツボ科寄生植物の自己認識と他者認識

○吉田 聡子（奈良先端大・先端科学）

14:20～14:40 休憩

一般講演・口頭発表：1 演題 12 分または 10 分（14:40～17:30）

座長：稲田のりこ（大阪公立大学・院・農）

14:40 シロイヌナズナにおける光形態形成の制御に対するポリスルフィドの影響

松井響愛¹，笠松真吾²，井田智章²，居原秀²，増田建³，○清水隆之¹

（¹奈良女子大・理，²大阪公立大・院・理，³東大・院・総合文化）

14:52 葉の老化過程における光合成電子伝達系の分解様式と活性酸素抑制機構の関係

○北川晴香¹，大西美帆¹，和田慎也²，三宅親弘¹

（¹神戸大・院・農，²東北大・院・農）

15:04 ルビスコ量低下イネを用いた PSI 循環的電子伝達の機能発現及び生理機能の解明

○大原悠利¹，嶋川銀河¹，森垣憲一¹，伊福健太郎²，和田慎也³，鈴木雄二⁴，
牧野周³，三宅親弘¹

（¹神戸大・院・農，²京都大・院・農，³東北大・院・農，⁴岩手大・院・農）

座長：清水隆之（奈良女子大・理）

15:16 シロイヌナズナに導入された FLV の検出及び活性評価

○大津和花¹，大原悠利²，前河秀²，嶋川銀河²，三宅親弘²

（¹神戸大・農，²神戸大・院・農）

- 15:28 シロイヌナズナ GS2 欠損株における光合成抑制要因の探索
○野村蒼吾¹, 佐藤勇人², 大原悠利², 嶋川銀河², 和田慎也³, 三宅親弘²
(¹神戸大・農, ²神戸大・院・農, ³東北大・院・農)
- 15:40 シロイヌナズナアクチン脱重合因子によるヒストン修飾の変化解析
○中野史弥¹, 稲田のりこ² (¹大阪公立大・院・農, ²大阪公立大学・院・農)

休憩 (15:50~16:10)

座長：石崎公庸 (神戸大・院・理)

- 16:10 シロイヌナズナにおける CLE46 ペプチドシグナリングの機能解析
○伊藤樹也¹, 遠藤暁詩², 福田裕穂^{2,3}
(¹京都先端大・院・バイオ環境, ²京都先端大・バイオ環境, ³秋田県立大)
- 16:22 側根創始細胞の極性形成におけるオーキシン極性輸送の役割
○金田紗苗, 柿本辰男 (阪大・院・理)
- 16:34 VISUAL スクリーニングによる低リグニン変異体の探索
黒田真穂¹, 若杉梨沙², ○近藤侑貴¹ (¹阪大・院・理, ²神戸大・院・理)

座長：柿本辰男 (阪大・院・理)

- 16:46 DNA メチル化の安定性・ダイナミクスと「エピアリアル」の探索
○伊藤佑 (阪大・院・理)
- 16:58 植物の分裂組織における RNA m6A 修飾の機能解析
○松尾亮佑¹, 間宮章仁¹, 岩田健太郎¹, 近藤侑貴², 石崎公庸¹, 深城英弘¹
(¹神戸大・院・理, ²阪大・院・理)
- 17:10 Evolutionary conserved RLF, a plant cytochrome *b₅*-like heme-binding protein, is essential for proper organ development in *Marchantia polymorpha*
○岩田健太郎¹, 清水隆之^{2,3}, 酒井友希¹, 古谷朋之^{1,4,5}, 福村日向丸¹,
近藤侑貴^{1,5}, 増田建², 石崎公庸¹, 深城英弘¹ (¹神戸大・院・理, ²奈良女子大・理,
³東大・院・総合文化, ⁴立命館大・生命, ⁵阪大・院・理)

交流会 (18:00~20:00) 会場：洋風酒場 キューカンビ 六甲店

近畿植物学会 第12回講演会

日時：2023年12月2日（土） 13:00～18:00

会場：大阪大学理学研究科 D 棟 D501 および D403

プログラム

12:00～ 開場・受付開始：会場 D501

13:00 総会：会場 D501

特別講演: 1 演題 30 分（13:20～14:20）：会場 D501

座長：柿本辰男

13:20 ゲノム分析で紐解く広域分布植物の分布形成史と環境適応

○阪口翔太（京大・院・人環）

13:50 植物のメリステム形成・維持の仕組み解明に向けて

○深城英弘（神戸大・院・理）

14:20～14:35 休憩

一般演題・口頭発表: 1 演題 12 分（14:35～16:45）：会場 D501

座長：岩田健太郎、島津舜治、新宅和憲

14:35 アマドコロ属（クサスギカズラ科）のプラストーム解析と核型進化

○増田理子¹、布施静香¹、野田博士¹、池田博²、Yang Yong-Ping³、
Pak Jae-Hong⁴、Lee Nam-Sook⁵、Pooma Rachun⁶、Pu Fa-Ding⁷、田村実¹
(¹京大・院・理・植物、²東大・博物館、³Kunming Inst. Bot., CAS, China、
⁴Kyungpook Natl. Univ., Korea、⁵Ewha Womans Univ., Korea、⁶BKF, Thailand、
⁷Chengdu Inst. Biol., CAS, China)

14:47 日本産ヤブラン属（クサスギカズラ科）の複数起源の同一倍数体は遺伝的にま
とまっているか？

○新宅和憲¹、布施静香¹、高山浩司¹、傳田哲郎²、田村実¹
(¹京都大・院・理・植物、²琉球大・理・海洋自然科学)

14:59 緑藻：クラミドモナスにおける銅ストレス応答機序の解析

○堤峻太郎¹、吉本梨紗²、三浦治郎³、山下琢矢¹、長野一也^{1,2}
(¹和歌山県医大・薬、²阪大・院・薬、³阪大・院・歯)

- 15:11 ゼニゴケのシトクロム b5 様ヘム結合タンパク質 MpRLF は栄養成長と生殖成長における適切な発生に必要である
○岩田健太郎¹、福村日向丸¹、酒井友希¹、古谷朋之^{1,2}、近藤侑貴¹、石崎公庸¹、深城英弘¹ (1神戸大・院・理、²立命館大・生命)
- 15:23 CLE ペプチドによる シロイヌナズナの 篩部パターン形成の仕組み
○帯刀晴加、Pingping Qian、柿本辰男 (阪大・院・理)
- 15:35~15:45 休憩
- 15:45 モデル寄生植物コシオガマを使用した吸器阻害物質の作用機序の解明
○菅咲桜里¹、井上峻雅¹、佐藤綾人²、吉田聡子¹
(¹奈良先端大・バイオ、²名古屋大・ITbM)
- 15:57 根圏環境のアンモニウムが条件的寄生植物コシオガマの吸器形成を抑制する
○稲葉尚子、Zhang Xiang、吉田聡子 (奈良先端大・院・バイオ)
- 16:09 Type-B BZR/BES 転写因子の分子機能比較解析
○古谷朋之¹、岩佐碧泉¹、梅北葵衣¹、野崎翔平^{2,3}、杉本貢一^{2,3}、近藤侑貴⁴、笠原賢洋¹
(¹立命館大・生命、²筑波大・生命環境、³筑波大・T-PIRC、⁴神戸大・院・理)
- 16:21 一過的サイトカニン応答は二次成長開始のスイッチとして機能する
○島津舜治^{1,2}、古谷朋之³、伊藤(大橋)恭子²、石崎公庸¹、深城英弘¹、朝比奈雅志^{4,5}、福田裕穂⁶、近藤侑貴¹
(¹神戸大・院・理、²東大・院・理、³立命館大・生命、⁴帝京大・理工・バイオ、⁵帝京大・先端機器分析センター、⁶秋田県立大)
- 16:33 マスター転写因子の活性調節と植物細胞の運命決定
○高田忍、吉田彩香、伊藤みはる、栗原敦、趙露、柿本辰男、飯田浩行 (阪大・院・理)
- 16:45~17:00 休憩・ポスター発表会場へ移動
- 17:00 ポスター発表：会場 D403
奇数番号 17:00~17:30
偶数番号 17:30~18:00

一般演題・ポスター発表 (17:00~18:00) : 会場 D403

- [P-1] 市販レタス種子は典型的な光発芽種子ではない
○辻村秀信 (生徒の理科研究所)
- [P-2] 高リン酸施肥に対するイネ生葉の mRNA 核外輸送活性抑制応答
○高木大輔 (摂南大・農)
- [P-3] スイートバジル子葉における腺毛の形成と香気性物質の生成に対する光の影響
○山本はな、若林和幸、曾我康一 (大阪公立大・院・理)
- [P-4] ゲノム編集によるラッカセイ低アレルゲン化に向けた取り組み
○益田理陽奈^{1,2}、大橋由依³、安本周平³、村中俊哉³
(¹奈良県立青翔高等学校、²大阪大学 SEEDS プログラム、
³大阪大学大学院工学研究科生物工学専攻)
- [P-5] 光条件によって変化するシロイヌナズナの葉柄運動の組織構造学的解析
○園田倅生¹、林真衣香¹、國枝正^{1,2}、出村拓^{1,2}
(¹奈良先端大・バイオ、²奈良先端大・CDG)
- [P-6] 代謝酵素の発現制御によるリグニンの生合成経路の改変
○坂本春菜¹、田村泰造¹、佐野亮輔¹、國枝正^{1,2}、出村拓^{1,2}
(¹奈良先端大・バイオ、²奈良先端大・CDG)
- [P-7] シロイヌナズナ種子ムシレージカプセルの新奇形成異常変異体の解析
○北門直也¹、出村拓^{1,2}、國枝正^{1,2}
(¹奈良先端大・バイオ、²奈良先端大・CDG)
- [P-8] VND 転写因子誘導系を用いた木部道管細胞の力学物性解析
○笹井美佳¹、國枝正^{1,2}、川村純平¹、別所歩武¹、岸田佳祐¹、細川陽一郎^{2,3}、
出村拓^{1,2}
(¹奈良先端大・バイオ、²奈良先端大・CDG、³奈良先端大・物質)
- [P-9] *Eucalyptus globulus* における主茎切断後の側枝形状解析
○宮部業¹、勝田亮紀¹、須河勇輝¹、吉川実玖¹、粟野達也²、吉永新²、
杉山淳司²、増村威宏³、森田重人³、中田未友希^{1,4}、出村拓^{1,4}
(¹奈良先端大・バイオ、²京都大・院・農、
³京都府大・院生命環境・京都農技セ生資セ、⁴奈良先端大・CDG)

[P-10] VND6 と VND7 による木部道管の二次細胞壁パターン形成に関する遺伝子制御機構の解明

○宮原佐季¹、國枝正^{1,2}、田村泰造¹、出村拓^{1,2}

(¹奈良先端大・バイオ、²奈良先端大・CDG)

[P-11] ゼニゴケによる青色光受容体 LOV/LOV PROTEIN の機能解析

○井川侑香¹、立川勇介¹、浦野裕貴¹、古谷朋之¹、高橋文雄^{1,2}、岩田達也²、伊関峰生²、末次憲之³、河内孝之⁴、笠原賢洋¹

(¹立命館大・院・生命科学、²東邦大・薬、³東京大・院・総合文化、⁴京都大・院・生命科学)

[P-12] 側根創始細胞の極性形成におけるオーキシンの役割

○金田紗苗、柿本辰男（阪大・院・理）

[P-13] スウェーデンにおけるシロイヌナズナの FLG22 応答の多様性とその遺伝要因

○松田祐一、広瀬史尚、井上沙樹子、Pingping Qian, 柿本辰男（阪大・院・理）

[P-14] Brassinosteroid receptor-mediated regulation of tissue regeneration in Arabidopsis

○Ye Zhang¹, Kazuki Suita¹, Naoki Takahashi², Masaaki Umeda¹

(¹Graduate School of Science and Technology, Nara Institute of Science and Technology,

² Department of Life Sciences, School of Agriculture, Meiji University)

18:00 交流会：会場 D403

参加費：学生無料、学生以外 2000 円

2023 年 近畿植物学会総会議事録

2023 年 12 月 2 日 13:00-13:20 大阪大学大学院理学研究科大講義室

1. 日本植物学会の近畿地区選出の代議員と 2023 年の近畿植物学会会長の協議によって、深城英弘氏（神戸大学大学院理学研究科・教授）が 2024-2025 年の近畿植物学会会長候補として推薦された。総会において全会一致で承認され、深城英弘氏がこれを引き受けた。
2. 2022 年度 会計・会計監査について大岡 宏造氏より報告され、承認された。
3. 2023 年度 収支予定について大岡 宏造氏より報告された。
4. 柿本会長より、2023 年日本植物学会関連団体意見交換会(日時：2023 年 8 月 28 日～2023 年 9 月 8 日、メール会議)の報告が行われた。日本植物学会年会開催の負担の平等化のため、ローテーションの見直し案が選ばれた。日本植物学会代議員会で審議される予定である。
5. 近畿植物学会の年一回の学会は近畿植物学会講演会という名称となっている。ポスター発表を行う年も多く、「講演会」という名称が適切かどうか検討しても良いのではという意見があった（柿本）。参考：北海道植物学会講演会、東北植物学会大会、北陸植物学会大会、近畿植物学会講演会、中国四国植物学会大会

近畿植物学会 第 11 回講演会

日時：2022 年 11 月 19 日 (土) 13:00～18:00

会場：大阪大学理学研究科 J 棟 2 階 南部陽一郎ホール

【共催】

大阪大学大学院理学研究科

プログラム

12:00～ 開場・受付開始

13:00 会長挨拶

柿本辰男 (阪大・院・理)

特別講演: 1 演題 30 分(13:05～14:05)

座長：柿本辰男

13:05 自然生態系における植物—ウイルス相互作用を RNA-seq で紐解く

○本庄三恵 (京大・生態学研究センター)

13:35 葉緑体の位置決定要因について

○高木慎吾 (阪大・院・理)

14:05～14:25 休憩

一般演題・口頭発表: 1 演題 13 分 (14:25～17:00)

座長：鎌本直也、島津舜治、下川瑛太

14:25 ヒカゲノカズラの根の形成から考える小葉類の器官進化

○伊藤雄氣¹、藤浪理恵子²、今市涼子³、山田敏弘¹

(¹大阪公立大・植物園、²京都教育大・教育、³日本女子大・理)

14:38 内鞘細胞の側根形成能を支配する PFA/PFB 転写因子の下流遺伝子の解析

○山本凜、柿本辰男 (阪大・院・理)

14:51 側根創始細胞の核の移動におけるオーキシンの役割

○金田紗苗、柿本辰男 (阪大・院・理)

15:04 器官発生におけるヘム結合タンパク質 RLF の機能解析

○岩田健太郎、福村日向丸、後藤千恵子、近藤侑貴、石崎公庸、深城英弘

(神戸大・院・理)

15:17 植物の表皮細胞運命の決定と ATML1 遺伝子の活性調節

飯田浩行²、○高田忍¹ (¹阪大・院・理、²ヘルシンキ大・HiLIFE)

- 15:30 糖シグナルによる維管束幹細胞制御機構の解析
○鳴瀧葵¹、島津舜治^{1,2}、古谷朋之^{1,3}、深城英弘¹、石崎公庸¹、近藤侑貴¹
(¹神戸大・院・理、²東大・院・理、³立命館大・生命)
- 15:43～15:55 休憩
- 15:55 ゼニゴケを用いたジベレリン様化合物の新奇信号伝達因子の探索
○下川瑛太¹、川村昇吾¹、Sun Rui¹、鈴木かおり¹、岡部麻衣子¹、吉竹良洋¹、
安居佑季子¹、西浜竜一³、山岡尚平¹、増口潔²、山口信次郎²、河内孝之¹
(¹京大・院・生命科学、²京大・化学研究所、³東京理科大・理工・応用生物)
- 16:08 カンゾウ培養ストロンにおけるグリチルリチン生合成遺伝子の発現におよぼす
DNA メチル化酵素阻害剤の効果
○藤原健太郎¹、高上馬希重²、村中俊哉^{1,3}、關光^{1,3}
(¹阪大・院・工、²北海道医療大・薬、³大阪大学先導的学際研究機構)
- 16:21 トリテルペノイドサポニン生合成におけるセルロース合成酵素類似タンパク質
の機能解析
○チョンスヨン¹、和氣駿之²、中山亨²、村中俊哉^{1,3}、關光^{1,3}
(¹阪大院・工・生物工学、²東北大院・工、³大阪大学先導的学際研究機構)
- 16:34 海洋性珪藻チラコイド膜の重炭酸輸送体候補因子 PtBests 及び TpBests の環境応
答解析
○仁岸みのり、山岸寛征、天野凌輔、伊藤駿、嶋川銀河、松田祐介
(関学大・院・理)
- 16:47 oil 高蓄積珪藻 *Fistulifera solaris* 及び *Mayamaea* sp.JPCC CTDA0820 の窒素飢餓応
答
○中安真菜¹、天野桃花¹、嶋川銀河¹、田中剛²、松田祐介¹
(¹関学大・院・理工、²農工大・工)
- 17:00 ポスター発表

一般演題・ポスター発表 (17:00~17:40)

[P-1] 維管束幹細胞の分裂と分化を制御する一過的サイトカイニン応答

○島津舜治^{1,2}、Nurani Alif Meem¹、森秀世¹、山田一貴³、柴田恭美³、古谷朋之^{2,4}、伊藤(大橋)恭子¹、石崎公庸²、深城英弘²、朝比奈雅志^{3,5}、稲垣宗一¹、角谷徹仁¹、福田裕穂^{1,6}、近藤侑貴²

(¹東大・院・理、²神戸大・院・理、³帝京大・理工・バイオ、⁴立命館大・生命、⁵帝京大・先端機器分析セ、⁶京都先端科学・バイオ環境)

[P-2] アクチン脱重合因子の発現抑制は葉の老化を促進する

○松本朋子¹、小林康一²、稲田のりこ³

(¹大阪府立大・院・生命環境、²大阪公立大・院・理、³大阪公立大・院・農)

[P-3] ゼニゴケにおける核光定位運動に対するフィトクロム関与のメカニズム

○三木碩己、野本千穂子、登坂祐哉、高木慎吾 (阪大・理・生物)

[P-4] 寄生植物コシオガマの遺伝子共発現ネットワーク解析

○田中瑞樹¹、大林武²、吉田聡子¹

(¹奈良先端大・院・バイオ、²東北大・院・情報科学)

[P-5] oil 高蓄積珪藻 *Fistulifera solaris* 及び *Mayamaea* sp.JPCC CTDA0820 の窒素飢餓応答

中安真菜¹、○天野桃花¹、嶋川銀河¹、田中剛²、松田祐介¹

(¹関学大・理工、²農工大・工)

[P-6] 海洋性珪藻 *Phaeodactylum tricoratum* には細胞質型炭酸脱水酵素は存在するか？

○豊島由衣、嶋川銀河、松田祐介 (関学大・院・理工)

[P-7] 頂端幹細胞による器官形成を再現する幾何学・力学モデルの構築

○鎌本直也、藤本仰一 (阪大・院・理)

[P-8] Towards the Analysis of Apoplastic pH Pattern During Lateral Root Formation Through the Use of Fluorescent Protein Based pH Sensors

○Enas Dafa Alla and Tatsuo Kakimoto (Grad. Sch. Sci., Osaka Univ.)

17:40 総会

18:00 閉会 (懇親会は開催いたしません。)

2022 年度 近畿植物学会総会議事録

2022 年 11 月 19 日 17:50-18:10 大阪大学南部ホール

1. 2021 年度 会計・会計監査について大岡 宏造氏より報告され、承認された。
2. 2022 年度 収支予定について大岡 宏造氏より報告された。
3. 2022 年度、2023 年度活動予定について柿本辰男氏より報告が行われた。2023 年度も大阪大学が世話人として近畿植物学会大会を行う。
4. 柿本辰男氏より 9/17 (土) の日本植物学会関連団体意見交換会について、以下の報告がされた。現在、各地区植物学会の割り振りを元に日本植物学会大会の担当地区が決まっている (これまで、九州と沖縄、四国と中国は合同開催)。日本植物学会員数が地区によって大きく異なっており、負担が過多となっている地区がある。そのため、会員数の少ない地区 (北陸、東北、北海道が少ない) の一部について合同開催などを検討するとして寺島植物学会長の提案があり、地区植物学会が持ち帰って意見を聞くこととなった。近畿植物学会は審議の上、負担が大きくなっている地区の意向に沿った改革を行うことを賛成することとした。
5. 日本植物学会員以外を特別講演に招待する場合の交通費・謝金について日本植物学会非会員を特別講演に招待する場合には近畿植物学会から旅費・謝金合わせて 1 万円程度を支出することを可とする案が提案され、承認された。

近畿植物学会 第10回講演会

日時：2021年11月19日（金）13:00~18:00

会場：オンライン（Zoom）

プログラム

(Zoom 開場 12:30~)

13:00 はじめに (会長挨拶)
出村拓 (奈良先端大・バイオ)

特別講演 : Zoom (13:05~14:35)

(座長 : 出村拓 (奈良先端大・バイオ))

13:05 40年間のフィトクロム研究を振り返る

○長谷あきら (京都大・理)

13:35 転写因子-ペプチド-受容体-転写因子フィードバックループによる篩部パターン形成の仕組み

○柿本辰男 (大阪大・理)

14:05 落葉木本植物ポプラの季節的なリン転流機構の解明

○栗田悠子 (龍谷大・農)

休憩 : Zoom ブレイクアウトルーム (14:35~15:00)

一般講演

口頭発表 : Zoom (15:00~16:45)

(座長 : 安居佑季子 (京都大・生命科学))

15:00 シダ植物・コケ植物における光合成器官の内部構造からみた光合成の環境適応メカニズム

○半場祐子¹、筒井悠里¹、松本真由¹、秋津朋子²、奈佐原顕郎²、久米篤³、藤田知道⁴ (1京都工芸繊維大・応用生物、²筑波大・生命環境、³九州大学・農学、⁴北大・理)

15:15 側根原基形成における局所的なオーキシン生合成の役割

○金田紗苗¹、柿本辰男² (1大阪大・理、²大阪大・院・理)

- 15:27 カリウムイオン排出チャンネル GORK を介した根の成長・発生制御機構の解析
○井手大輔¹、西丸陸¹、青木優佳¹、豊倉浩一^{1,2}、郷達明^{1,3}、近藤侑貴¹、石崎公庸¹、三村徹郎^{1,4}、深城英弘¹ (1神戸大・院・理、²グランドグリーン(株)、³奈良先端大・先端科学、⁴東大・院・農学生命)
- 15:39 側根形成におけるシトクロム b5 様ヘム/ステロイド結合タンパク質 RLF の機能解析
○岩田健太郎¹、後藤千恵子¹、福村日向丸¹、近藤侑貴¹、石崎公庸¹、深城英弘¹ (1神戸大・院・理)

(座長：後藤千恵子 (神戸大・理))

- 15:51 木部輸送に影響を及ぼす XYLANASE1 遺伝子の生理機能解析
○遠藤暁詩¹、福田裕穂² (1京都先端大・総合、²京都先端大・バイオ環境)
- 16:06 細胞核内におけるアクチン脱重合因子の機能解析
○松本朋子、稲田のりこ (大阪府大・生命環境)
- 16:18 アブラナ科炭疽病応答におけるアクチン脱重合因子の機能解析
○青木さくら、稲田のりこ (大阪府大・生命環境)
- 16:30 ゼニゴケの配偶子器発生を制御する非典型 BZR 転写因子の解析
○古谷朋之¹、山岡尚平²、石崎公庸¹、西浜竜一^{2,3}、荒木崇²、河内孝之²、福田裕穂^{4,5}、近藤侑貴¹ (1神戸大・院・理、²京大・院・生命、³東理大・院・理工、⁴東大・院・理、⁵京都先端大・バイオ)

休憩：Zoom ブレイクアウトルーム (16:45~17:00)

ポスター発表：Zoom ブレイクアウトルーム (17:00~17:40)

※1 回目 (奇数)：17:00~17:20

※2 回目 (偶数)：17:20~17:40

- [P1] 頂端切除後に生じるユーカリ側枝の屈曲過程の解析
○勝田亮紀、中田未友希、出村拓 (奈良先端大・バイオ)
- [P2] ゼニゴケ胞子体に発現する CCCH 型 zinc finger タンパク質の解析
○寺西岳生、嶋田知生 (京大・院理)
- [P3] ユーカリ側枝の形状を決定するメカニズムの解析
○小島有香、中田未友希、佐野亮輔、出村拓 (奈良先端大・バイオ)
- [P4] 根系構築に異常を示すシロイヌナズナ新規変異体の解析
○村岡涼子、近藤侑貴、石崎公庸、深城英弘 (神戸大・院・理)

- [P5] シロイヌナズナにおける高湿度環境応答機構の解析
○石崎遼、安田盛貴、西條雄介（奈良先端大・バイオ）
- [P6] シロイヌナズナの側根形成初期に発現する GATA23 遺伝子の破壊株の解析
○山本凜、柿本辰男（阪大・理）
- [P7] シロイヌナズナの葉柄運動を駆動する葉柄の形状変化
○熊谷凌¹、國枝正¹、春田牧人²、佐野亮輔¹、出村拓¹（¹奈良先端大・バイオ、²奈良先端大・物質）
- [P8] ゼニゴケにおけるユビキチン E3 リガーゼ MpFLY の機能解析
○松葉千夏、國枝正、出村拓（奈良先端大・バイオ）
- [P9] 維管束幹細胞の運命制御におけるサイトカイニンの機能解析
○島津舜治^{1,2}、ヌラニ・アリフ・ミーム¹、山田一貴³、柴田恭美³、古谷朋之²、伊藤（大橋）恭子¹、石崎公庸²、深城英弘²、朝比奈雅志^{3,4}、福田裕穂^{1,5}、近藤 侑貴²（¹東大・院・理、²神戸大・院・理、³帝京大・理工・バイオ、⁴帝京大・先端機器分析センター、⁵京都先端大・バイオ環境）
- [P10] VND6 および VND7 転写因子による木部道管細胞の二次細胞壁形成制御機構の解明
○平彩乃、國枝正、出村拓（奈良先端大・バイオ）
- [P11] AFM によるシロイヌナズナ木部道管細胞の力学的強度変化解析
○別所歩武¹、國枝正¹、川村純平¹、岸田佳祐¹、細川陽一郎²、出村拓¹（¹奈良先端大・バイオ、²奈良先端大・物質）
- [P12] 機械刺激はシロイヌナズナ木部道管細胞の二次細胞壁形成を抑制する
○三谷恭平、國枝正、出村拓（奈良先端大・バイオ）

総会：Zoom（17:40~18:00）

出村拓（奈良先端大・バイオ）

懇親会：Zoom（18:00~20:00）

【協賛】

文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究（複合）

「植物の力学的最適化戦略に基づくサステナブル構造システムの基盤創成」

近畿植物学会 第9回講演会

日時：2020年11月21日（土）13:00~20:00

会場：オンライン（Zoom & SpatialChat）

プログラム

(Zoom 開場 12:30~)

13:00 はじめに (会長挨拶)
出村拓 (奈良先端大・バイオ)

特別講演：Zoom

(座長：出村拓 (奈良先端大・バイオ))

13:05 ペプチドを利用した植物バイオと材料科学への展開
沼田圭司 (京大・工)

13:35 クローナル植物における環境応答の分子基盤
荒木希和子 (立命館大・生命科学)

14:05 維管束細胞運命の操作と理解
近藤侑貴 (神戸大・理)

休憩 (14:35~15:00)

SpatialChat (ROOM 「Plant_Structure_Opt_A」および「Plant_Structure_Opt_B」)

一般講演

口頭発表 1：Zoom (15:00~16:00)

(座長：久保田茜 (奈良先端大・バイオ))

15:00 植物構造オプトにおける植物科学と空間構造工学との協働
○出村拓 (奈良先端大・バイオ)

15:15 X線マイクロCTを用いた種子吸水過程における空気間隙変化の解析
○山内大輔¹、大河知夏²、坂本梢²、権工民¹、中井朋則¹、玉置大介³、上杉健太郎⁴、星野真人⁴、唐原一郎³、峰雪芳宣¹ (1兵庫県大・院・生命、2兵庫県大・理・生命、3富山大・院・理工、4高輝度光科学研究センター)

15:30 植物マイクロバイオータによる根の発生・免疫の制御
○中野亮平 (MPIPZ)

15:45 高湿度環境が誘起する植物の細菌抵抗性

○安田 盛貴¹、平瀬 大志¹、Lionel Verdoucq²、Colette Tournaire-Roux²、山田 晃嗣^{3,4}、Iris Finkemeier^{3,5}、中神 弘史³、Xiu-Fang Xin⁶、Sheng Yang He⁶、Christophe Maurel²、西條 雄介^{1,3} (1奈良先端大・バイオ、²CNRS、³MPIPZ、⁴徳島大・社会産業理工、⁵Univ. Münster、⁶Michigan State Univ.)

休憩 (16:00~16:10)

SpatialChat (ROOM 「Plant_Sturucture_Opt_A」および「Plant_Sturucture_Opt_B」)

口頭発表 2 : SpatialChat (16:10~16:50)

※1 回目 : 16:10~16:30

※2 回目 : 16:30~16:50

[ROOM A] 寄生器官を形成しないコシオガマ変異体 *lhf1* の解析

○相澤 みお、Songkui Cui、古田 かおり、吉田聡子 (奈良先端大・バイオ)

[ROOM B] Photoconvertible fluorescent tags to visualize the movement of CELLULOSE SYNTHASEs during protoxylem development

○石尾寛乃¹、Yoichiro Watanabe^{1,2}、出村拓¹ (1奈良先端大・バイオ、²Dept. of Bot., UBC)

[ROOM C] 苔類ゼニゴケにおける葉緑体核様体の新奇光応答反応—光分散・暗集合反応—

○石原静圭¹、坂下幸汰¹、石田悠介¹、木森義隆²、西村芳樹³、小林優介⁴、岩淵功誠¹、西村いくこ¹ (1甲南大院・自然科学、²福井工業大・環境情報、³京大院・理学、⁴国立遺伝学研究所・遺伝形質)

[ROOM D] 珪藻 *Chaetoceros gracilis* の油脂蓄積に対するナノバブルの有効性の検討

○井上祐大¹、井上 (菓子野) 名津子¹、伊福健太郎²、北方恵美³、大平猛³、菓子野康浩¹ (1兵庫県立大・生命理学、²京大・生命科学、³東大・物性研)

[ROOM E] 原子間力顕微鏡を用いた二次細胞壁形成過程における細胞の力学的強度変化の解析

○川村純平¹、國枝正¹、岸田佳祐¹、秋田絵理²、細川陽一郎²、出村拓¹ (1奈良先端大・バイオ、²奈良先端大・物質)

[ROOM F] 雌雄異株植物オニドコロにおける訪花昆虫の特定と訪花数の雌雄差

○工藤葵¹、杉原優^{1,2}、太田敦士¹、寺内良平^{1,2} (1京大・農、²岩手生工研)

[ROOM G] シロイヌナズナ花茎における力学特性と組織構造の関係

○仲尾真男、中田未友希、出村拓 (奈良先端大・バイオ)

[ROOM H] シロイヌナズナ木部道管様細胞において原形質分離は二次細胞壁形成を抑制する

○水元康裕、國枝正、出村拓（奈良先端大・バイオ）

[ROOM I] ケミカルジェネティクスを用いた気孔発生の制御因子の探索

○村上知暉、嶋田知生（京大・院・理）

休憩（16:50~17:00）

SpatialChat（ROOM 「Plant_Structure_Opt_A」および「Plant_Structure_Opt_B」）

口頭発表3：Zoom（17:00~17:45）

（座長：安田盛貴（奈良先端大・バイオ））

17:00 陸上植物におけるオーキシン-WIP 経路の研究

○加藤大貴^{1,2}、Dolf Weijers²、石崎公庸¹（¹神戸大・院・理、²Lab. Biochem. Wageningen Univ.）

17:15 光合成信号伝達キナーゼ PRAF の機能と局在

小出絵理¹、新宅明日架¹、末次憲之¹、岩野恵¹、後藤栄治²、野村有子³、Sara C. Stolze⁴、中神弘史^{3,4}、河内孝之¹、○西浜竜一¹（¹京大・院・生命、²九大・院・農、³理研・CSRS、⁴MPIPZ, Germany）

17:30 ゼニゴケにおける植物特異的 BZR 転写因子ファミリーの役割

○古谷朋之¹、山岡尚平²、石崎公庸¹、西浜竜一²、荒木崇²、河内孝之²、福田裕穂³、近藤侑貴¹（¹神戸大・院・理、²京大・院・生命、³東大・院・理）

17:45 総会

懇親会（18:00~20:00）

2019 年度（第 8 回）近畿植物学会講演会

2019 年 11 月 16 日（土）13:00～20:00

京都大学吉田キャンパス北部構内 理学研究科セミナーハウス

（〒600-8502 京都市左京区北白川追分町）

プログラム

特別講演（13:00～15:00）

光合成をやめた植物の不思議な生活

末次健司（神大理）

座長：三村徹郎（神大理）

精子を作る植物に保存された cAMP 合成・分解酵素とその生理的役割

笠原賢洋（立命館大生命科学）

座長：大和勝幸（近大生物理工）

植物アクチン脱重合因子の新規機能の解析

稲田のりこ（大阪府大生命環境科学）

座長：峰雪芳宣（兵庫県大生命科学）

花の夢さの分子機構

伊藤寿朗（奈良先端大）

座長：工藤洋（京大生態研）

休憩（15:00～15:15）

一般講演（15:15～17:00）

座長（前半）：鈴木友美（京大理）

植物核ラミナの構造と機能の解析

○坂本勇貴^{1,2}、高木慎吾¹、松永幸大²（¹阪大理、²東京理科大応生）

phyB_N26 ペプチドによるスクロース存在下での胚軸伸長抑制の阻害

○高山正偉、吉原静恵、徳本勇人（大阪府大理）

日本産モモ品種「白鳳」のゲノム解析

○井手大輔¹、平川英樹²、石丸恵¹、小田賢司³、大和勝幸¹

(¹近大生物理工、²かずさ DNA 研、³岡山県生物科学研)

ニチニチソウ乳管細胞・異形細胞の発生、分化、代謝変動の解析

○鶴崎真妃¹、山本浩太郎²、高橋勝利³、大西美輪⁴、栗田悠子⁵、七條千津子¹、永野惇⁵、
石崎公庸¹、深城英弘¹、三村徹郎¹ (¹神大理、²Dept. Nat. Prod. Bio., MPI、
³産総研計測フロンティア、⁴神大イノベ、⁵龍大農)

座長 (後半) : 末次憲之 (京大生命)

ゼニゴケの精子形成に関わる精細胞特異的ヒストン H1 バリエーションの解析

○小谷莞太¹、西田瑠理¹、肥後あすか²、小竹葵¹、井上佳祐¹、山岡尚平¹、荒木崇¹
(¹京大生命、²横浜市大木原研)

超低温保存した苔類精子の利用

○十川太輔¹、嶋村正樹²、大和勝幸¹ (¹近大生物理工、²広大統合生命)

ゼニゴケの PRONE 型 RopGEF はクローン繁殖子の発生に必須である

○樋渡琢真¹、金澤建彦^{2,3}、深城英弘¹、三村徹郎¹、上田貴志^{2,3}、浦野大輔⁴、石崎公庸¹
(¹神大理、²基生研細胞動態、³総研大生命科学、⁴ Temasek Life Science Lab)

ゼニゴケ胞子の不等分裂メカニズム

○酒井友希^{1,2,3}、檜垣匠⁴、西浜竜一、河内孝之⁵、馳澤盛一郎^{1,6}
(¹東大新領域、²神大理、³阪大理、⁴熊大 IROAST、⁵京大生命、⁶法政大生命)

ポスター紹介 (17:00~17:10)

総会 (17:15~17:30)

ポスター発表 (17:30~18:00)

P-1 酸化亜鉛ナノ粒子がレタス根の成長に及ぼす影響の解析

○廣瀬蓮、岡本和也、吉原静恵、徳本勇人 (阪府大理)

P-2 葉緑体遺伝子によるツククサ科の系統解析 : 進化と分類

○李忠建、布施静香、田村実 (京大理)

P-3 原始的被子植物コショウ目の大陸間移動 : 陸橋経由 vs 種子の長距離散布

○小林千浩、布施静香、田村実 (京大理)

P-4 PSTAIR 抗体とタマネギ cdc2 抗体を使ったタマネギ PPB に局在する CDK の解析

○大塚礼己、中井朋則、山内大輔、横田悦雄、峰雪芳宣 (兵県大生命)

P-5 造精器特異的依存型イオンチャンネルは苔類ゼニゴケの精子走化性および生殖に関与する

○十川太輔¹、末次憲之²、河内孝之²、大和勝幸¹ (¹近大生物理工、²京大生命)

P-6 陸上植物の核形態制御におけるゼニゴケ CRWN の役割

○瀧野晃司¹、工藤大彰¹、高橋知愛¹、坂本勇貴¹、石田咲子²、松田頼子²、西浜竜一²、
河内孝之²、高木慎吾¹ (¹阪大理、²京大生命)

P-7 観葉植物はなぜ室内環境で成長できるのか？

○大垣七海、増田彩、高木慎吾（阪大理）

P-8 The DELLA protein regulates growth and far-red light responses in the liverwort *Marchantia polymorpha*

○Rui Sun¹, Jorge Hernández-García², Keisuke Inoue¹, Shohei Yamaoka¹, Ryuichi Nishihama¹, Miguel A. Blázquez², Takayuki Kohchi¹ (¹Biostudies, Kyoto Univ., ²IBMCP, CSIC-UPV, Spain)

P-9 苔類ゼニゴケにおけるジベレリン類縁化合物のメチル化による生殖器官形成の制御

○川村昇吾、山岡尚平、吉竹吉洋、Rui Sun、西浜竜一、河内孝之（京大生命）

P-10 ゼニゴケの無性芽発生における分裂パターンと幹細胞系譜の解明に向けたクローナル解析

○鈴木秀政¹、C. Jill Harrison²、嶋村正樹³、河内孝之¹、西浜竜一¹
(¹京大生命、²Sch. Biol. Sci., Univ. Bristol、³ 広大統合生命)

P-11 斑入り突然変異体 *var2* は、機械刺激依存的なカルシウム応答が過敏である

○原田明子¹、田中智佳子¹、三原加寿代¹、飯田秀利²、林晃之³
(¹大阪医大生物、²東京学芸大教育、³甲子園大栄養)

P-12 葉緑体核様体の新奇光応答反応～光分散・暗集合反応～

石原静圭¹、坂下幸汰¹、石田悠介¹、木森義隆²、西村芳樹³、小林優介⁴、西村いくこ¹、
○岩淵功誠¹ (¹甲南大理工、²福井工大環境情報、³京大理、⁴遺伝研)

P-13 薬剤選抜を必要としない迅速な形質転換ダイズの作製法 (GmFAST 法)

○岩淵功誠¹、島田貴士²、山田哲也³、西村いくこ¹ (¹甲南大理工、²千葉大園芸、³北大農)

P-14 苔類ゼニゴケ雌性化抑制因子である長鎖ノンコーディング RNA SUF の作用機序の解析

○梶原智明¹、岡橋啓太郎¹、久永哲也^{2,3}、宮崎基¹、岩崎美雪¹、
山岡尚平¹、西浜竜一¹、嶋村正樹⁴、大和勝幸⁵、中島敬二²、河内孝之¹
(¹京大生命、²奈良先端大、³グレゴール・メンデル研、⁴ 広大統合生命、⁵ 近大生物理工)

P-15 長期感染における植物ウイルス-ホスト間相互作用の季節性

本庄三恵¹、榮村奈緒子^{1,2}、川越哲博¹、杉阪次郎¹、神谷麻梨^{1,3}、永野惇^{1,3}、○工藤洋¹
(¹京大生態研、²鹿児島大農、³龍大農)

P-16 南硫黄島学術調査 -幻のラン、シマクモキリソウの再発見-

○高山浩司¹、堤千絵²、川口大朗³、加藤英寿⁴、遊川知久²
(¹京大理、²科博筑波実験植物園、³東京都小笠原支庁、⁴首都大牧野標本館)

P-17 苔類ゼニゴケにおける赤色光シグナル伝達の組織特異性の検証

○森崎良太、吉竹良洋、井上佳祐、山岡尚平、西浜竜一、河内孝之（京大生命）

P-18 Developmental analysis of the origin of cauline leaf propagules for vegetative reproduction of *Rorippa aquatica*

○池松朱夏、佐々木亜美、坂本智昭、木村成介（京産大生命科学）

懇親会（18:00～20:00）

平成30年度(第7回) 近畿植物学会講演会

日時:平成30年11月17日(土) 場所:キャンパスプラザ京都(JR京都駅前)

12:40~ 開場・受付開始

12:55~ はじめに

13:00~ 特別講演

上田 晴子 (甲南大学 理工学部)

「植物のさまざまな運動とアクチン・ミオシンXI細胞骨格」

高山 浩司 (京都大学 理学研究科)

「汎熱帯海流散布植物の系統地理:海による分布の拡大と制限」

山田 敏弘 (大阪市立大学 理学部附属植物園)

「胚珠軸に残された生きた化石」

(休憩)

14:20~ 一般講演

○**長谷 あきら**、菊池 美里、吉川 由希子、鈴木 友美、望月 伸悦 (京大・院・理)

「フィットクロムの舌構造におけるアミノ酸置換の効果と進化的考察」

○**大辻 知聖**、野村 将史、徳本 勇人、吉原 静恵 (大阪府大・院・理)

「フィットクロムの吸収波長変化による生長への影響」

○**吉原 静恵**¹、野村 海斗¹、倉橋 健介²、徳本 勇人¹ (1. 大阪府大・院・理、2. 大阪府大高専・環境物質化学)

「ZnOナノ粒子の亜鉛イオンによる花粉の発芽遅延」

○**野村 海斗**¹、竹田 恵美²、吉原 静恵²、倉橋 健介³、徳本 勇人²

(1. 大阪府大・生命環境、2. 大阪府大・院・理、3. 大阪府大高専・環境物質化学)

「酸化亜鉛ナノ粒子が植物に与える影響の解析」

○**平尾 明日香**、出村 拓、大谷 美沙都 (奈良先端大・バイオ)

「植物のRNA代謝と細胞分化能制御をつなぐNAC転写因子群の機能解析」

○**高橋 洋和**、出村 拓、大谷 美沙都 (奈良先端大・バイオ)

「植物の細胞内ストレスによるpre-mRNAスプライシングダイナミクスの解析」

西尾 治幾¹、Diana Buzas²、伊藤 佑¹、○**工藤 洋**¹ (1. 京大・生態研、2. 筑波大・遺伝子実験セ)

「ハクサンハタザオ自然集団におけるヒストン修飾H3K27me3とH3K4me3の長期解析」

○**本庄 三恵**¹、永野 惇^{1,2}、川越 哲博¹、杉阪 次郎¹、榮村 奈緒子^{1,3}、神谷 麻梨^{1,2}、工藤 洋¹

(1. 京大・生態研、2. 龍谷大・農、3. 鹿児島大・農)

「ハクサンハタザオとカブモザイクウイルスの相互作用における季節性」

(休憩)

15:55~ ○**板谷 圭悟**¹、鳴橋 直弘²、林 一彦³、布施 静香¹、田村 実¹ (1. 京大・院・理、2. 堺市、3. 大阪学院大)

「日本産コバイモ亜属(ユリ科)の分子系統解析」

○**李 忠健**、布施 静香、田村 実 (京大・院・理)

「東・東南アジアのイボクサ属の分子系統解析」

○**吉田 聡子**^{1,2}、Songkui Cui^{1,2}、白須 賢^{2,3} (1. 奈良先端大・バイオ、2. 理研・CSRS、3. 東大・院・理)

「寄生植物を使った分子遺伝学的実験系の構築」

○**豊倉 浩一**^{1,2}、Jung-ok Heo^{2,3}、Iris Sevilem³、柿本 辰男¹、Ykä Helariutta^{2,3}

(1. 大阪大・院・理、2. ケンブリッジ大、3. ヘルシンキ大)

「植物細胞の分裂方向制御に関わる新規因子の同定」

○**安居 佑季子**¹、塚本 成幸¹、西浜 竜一²、深城 英弘¹、三村 徹郎¹、河内 孝之²、石崎 公庸¹

(1. 神戸大・院・理、2. 京大・院・生命科学)

「ゼニゴケの2つのR2R3-MYB型転写因子による細胞の幹細胞性獲得のメカニズム」

○**泉田 颯太**、渡辺 健太、椎名 隆 (京府大・院・生命環境)

「ミトコンドリア機械受容チャネルMSL1の気孔開閉における役割」

○**田澤 仁** (吉田生物研究所)

「シャジクモ節間細胞の細胞壁、原形質膜、液胞膜の水透過性は加齢に伴って変化する」

○**山内 大輔**¹、中井 朋則¹、金子 康子²、上杉 健太郎³、星野 真人³、玉置 大介⁴、唐原 一郎⁴、峰雪 芳宣¹

(1. 兵庫県大・院・生命、2. 埼玉大・教育、3. 高輝度光科学研究センター、4. 富山大・院・理工)

「ミヤコガサ種子吸水過程における子葉内細胞間隙出現機構の解析」

近畿植物学会総会

17:45 閉会

18:00~ 懇親会 (事前申し込みの方のみご参加いただけます。ご了承ください)

平成 29 年度（第 6 回）近畿植物学会講演会

日時：平成 29 年 11 月 18 日（土）13:30～

場所：兵庫県民会館 10 階会議室「福」

プログラム：

○特別講演（13:30～15:00）1 題 30 分

- ・シダ植物小葉類の根の構造と分枝
藤浪理恵子（京都教育大・教育・理）
- ・植物分子フェノロジー：季節を測る分子メカニズム
工藤 洋（京都大・生態学研究センター）
- ・コケ植物から探る陸上植物の生殖細胞系列の決定機構
河内孝之（京都大・院・生命科学）

○一般講演（15:20～17:05）1 題 15 分

- ・サダソウ属（コショウ科）の系統進化
小林千浩, 布施静香, 田村 実（京都大・院・理・植）
- ・ユリ属（ユリ科）の系統と分類上の問題点
渡邊誠太¹, 林 一彦², 荒川克郎³, 布施静香¹, 田村 実¹（¹京都大・院・理・植, ²大阪学院大,
³ガーデンリリーファーム）
- ・体細胞分裂の観察方法の改善とその効果 —シリコンコートスライドガラスと広げ枠の活用—
石上三雄¹, 米田梨那²（¹ミナト光学工業, ²滋賀県立水口高校）
- ・根に見られる放射維管束の木部軸の数が決まる仕組みの解明を目指して
藤原基洋¹, 宮島俊介², 藤本仰一¹（¹大阪大・院・理, ²奈良先端大・院・バイオ）
- ・シロイヌナズナ T-DNA 挿入変異体を用いた胚軸成長に関する遺伝子の探索
大島悠希, 藤多彩加, 土谷謙太, 馬淵敦士, 曾我康一, 若林和幸, 保尊隆享（大阪市大・院・理）
- ・光化学系 II の構築過程および関与因子
菓子野康浩, 磯部明日香, 富家佑妃, 井上・菓子野名津子（兵庫県大・理）
- ・珪藻 *Chaetoceros gracilis* における脂肪酸の解析
山崎瑠衣¹, 西野有里¹, 宮澤淳夫¹, 井上(菓子野)名津子¹, 伊福健太郎², 菓子野康浩¹（¹兵庫県大・
院・生命, ²京都大学・院・生命）

○ 総会（17:15～17:45）

○ 懇親会：鳥貴族神戸元町店（18:00～）

会場アクセス

地下鉄県庁前駅からすぐ。

JR 元町駅または阪神電鉄元町駅から徒歩 10 分



兵庫県民会館 HP より

懇親会場：鳥貴族神戸元町店 TEL：078-392-6609

兵庫県民会館 鳥貴族神戸元町店



平成 28 年度（第 5 回）近畿植物学会講演会

日時：平成 28 年 11 月 12 日（土）13:30～

場所：兵庫県民会館 303 室（兵庫県神戸市中央区下山手通 4-16-3）

プログラム：

○特別講演（13:30～15:00）1 題 30 分

- ・色素体とミトコンドリアの分裂増殖システムを読み解く
吉田大和（理研・生命システム研究センター）
- ・水草ヒルムシロ属の環境応答と種分化
小菅桂子（神戸大・院・理）
- ・花器官の配置のばらつきを表す数理モデル
北沢美帆（大阪大・全学教育推進機構）

○一般講演（15:20～17:20）1 題 15 分

- ・ロクアイタンポポ²（仮称）は岡山・神戸・奈良・滋賀に分布する
岡本圭史¹，岩本哲人¹，谷良夫²，芝池博幸³，鈴木武⁴（¹神戸市立六甲アイランド高校，²兵庫県立尼崎小田高校，³農業・食品産業技術総合研究機構，⁴兵庫県立人と自然の博物館）
- ・きぼう実験棟の微小重力環境におけるシロイヌナズナ花茎の成長と細胞壁変化
谷村佑介¹，馬淵敦士¹，曾我康一¹，若林和幸¹，橋本隆²，保尊隆享¹（¹大阪市大・院・理，²奈良先端大・バイオ）
- ・急激な温度降下で生じるセントポーリア葉の傷害誘導メカニズム
大西美輪^{1,2}，本岡香奈²，角浜憲明²，石崎公庸²，深城英弘²，鈴木祥弘³，三村徹郎²（¹神戸大・先端融合研究環，²神戸大・院・理，³神奈川大学・理）
- ・シロイヌナズナのリン酸濃度応答遺伝子の探索
鈴木太郎¹，大西美輪¹，菅野里美²，豊倉浩一^{1,3}，郷達明¹，手塚あゆみ⁴，永野惇⁴，石川亮⁵，石崎公庸¹，深城英弘¹，三村徹郎¹（¹神戸大・院・理・生物，²東京大・生物生産工学センター，³大阪大・院・理・生物科学，⁴龍谷大・農・植物生命科学，⁵神戸大・院・農・資源生命科学）
- ・植物のクチクラ形成に関与する新規制御因子の探索
田中博和，田井聡美，成瀬光，北倉左恵子，柿本辰男（大阪大・院・理・生物）
- ・シロイヌナズナにおける BEN2/VPS45 遺伝子による発生制御機構の解明
松浦友紀，柿本辰男，田中博和（大阪大・院・理・生物）
- ・被子植物の根端分裂組織に見られるドーム形状の曲線は普遍である
藤原基洋，藤本仰一（大阪大・院・理・生物）
- ・薬剤を使ったタマネギ根端分裂組織の分裂準備帯形成と核周期進行の部分的脱共役の誘導
大塚礼己，藪内隆俊，山内大輔，中井朋則，峰雪芳宣（兵庫県大・院・生命理学）

○総会（17:30～17:50）

○懇親会：鳥貴族神戸元町店（18:00～）

会費：一般 3,500 円、学生 2,000 円

第4回近畿植物学会講演会

日時：平成27年11月7日(土)12:15～

場所：大阪市立大学理学部附属植物園

(大阪府交野市私市2000、京阪交野線「私市」下車、徒歩約6分)

<http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/index.html>

プログラム：

・一般講演(12:15～13:15)

細胞壁物性の制御における *ANL2* の役割

馬淵敦士、曾我康一、若林和幸、保尊隆享(大阪市大・院・理)

タイ類ゼニゴケの配偶子形成における *MpRKD* 遺伝子の機能解析

厚井 聡¹、久永 哲²、嶋村正樹³、石崎公庸⁴、河内孝之⁵、中島敬二^{2,6}

(¹大阪市大・院・理、²奈良先端大・バイオ、³広島大・院・理、

⁴神戸大・院・理、⁵京大・院・生命、⁶科学技術振興機構・さきがけ)

シカの採食条件下におけるイチイガシとアカガシ個体群の分布と構造

前迫ゆり¹、森川顕次²、能瀬駿一²、山田佳実²、濱田 凌²、森田哲朗³

(¹大阪産大・院・人間環境、²大阪産大・人間環境、³(株)地域環境計画)

水生植物の異形葉形成と海水適応

飯田聡子、坂山英俊、角野康郎、小菅桂子(神戸大・院・理)

・特別講演(13:20～13:45)

ナノとマイクロの3Dイメージングによる細胞分裂面挿入位置の研究

峰雪芳宣(兵庫県立大)

・日本学術会議主催公開シンポジウム(14:00～17:00)

・総会(17:10～17:40)

・懇親会(18:00～)

(一般 3,000 円、学生 1,000 円)

日本学術会議主催公開シンポジウム

自然史教育における 植物園の役割

今日「持続可能な社会の構築」に向けて「自然との共生」や「生物多様性の保全と持続可能な利用」が重要な社会的目標となったなかで、大学教育における生物学の参照基準がまとめられた。大学が所有・管理している演習林や実験林、臨海実験所、植物園等の施設は、フィールドに直結した優れた教育の場として生かされることが期待されている。しかし、大学付属植物園が十分に評価され、生かされているとは言えない。現状改善と研究教育体制を充実のため、あるべき植物園の役割を議論する。

- 14:00 開会
- 14:10 大学教育における生物学の参照基準、植物園に期待すること
西田治文（日本学術会議連携会員、中央大学理工学部教授）
- 14:30 森の植物園：教育利用の事例紹介
植松千代美（大阪市立大学理学研究科付属植物園講師）
- 14:50 大学植物園の現状と展望
飯野盛利（大阪市立大学理学研究科付属植物園園長、教授）
- 15:30 自然のレフュージアとしての植物園
加藤 真（日本学術会議連携会員、京都大学人間環境学研究科教授）
- 15:50 生態系インフラストラクチャー：
自然環境保全再生分科会の提言とその反響
鷺谷いづみ（日本学術会議連携会員、中央大学人間総合理工学部教授）
- 16:20 総合討論
（司会）戸部 博（日本学術会議連携会員、京都大学名誉教授）
（コメンテーター）
西 弘嗣（日本学術会議連携会員、東北大学教授）
松浦啓一（日本学術会議連携会員、国立科学博物館名誉研究員）
馬渡俊介（日本学術会議連携会員、北海道大学名誉教授）
- 17:00 閉会

日時：平成 27 年 11 月 7 日（土）14:00～17:00

場所：大阪市立大学理学部付属植物園

〒576-0004 大阪府交野市私市 2000, TEL 072-891-2059

参加費：無料
自然史・古生物分科会主催
近畿植物学会共催，公益社団法人日本植物学会後援

平成 26 年度 第 3 回近畿植物学会講演会

日時：平成 26 年 4 月 19 日（土）

場所：大阪市立大学理学部附属植物園

プログラム：

特別講演（13:00～15:00）

- ・緑藻 *Botryococcus braunii* の脂質・多糖の生産と蓄積
野口哲子（奈良女子大・自然科学系）
- ・新しい植物生理活性物質を求めて - methyl jasmonate から artabolidide まで -
上田純一（大阪府大・院・理）
- ・園芸花きの開花と老化を制御する新規薬剤の探索
佐藤 茂（京都府大・院・生命環境）

一般講演（15:10～16:40）

- ・細胞核の形態維持に関与するシロイヌナズナ CRWN について
坂本勇貴、杉山智哉、松永幸大、高木慎吾
（大阪大・院・理、東京理科大・理工）
- ・ラビリンチュラ類（ストラメノパイル生物群）の遊走細胞の鞭毛装置と着生過程の観察
岩田いづみ、本多大輔
（甲南大・院・自然科学、甲南大・理工、統合バイオ研）
- ・シロイヌナズナ根のリン酸吸収イメージング
菅野里美、岡田和也、大西美輪、姉川 彩、Laurent NUSSAUME、
田野井慶太郎、中西友子、三村徹郎
（神戸大・院・理、CEA/Cadarache、東京大・院・農）
- ・雄性不稔カタバミを用いた学校教材の開発
渥美茂明（兵庫教育大・自然系）
- ・イネ個体の生存に必須な根の病害抵抗性に関する研究
藤枝聡志、清水崇史、西野沙希、藤川奈那央、東條元昭、飯野盛利
（大阪市大学・院・理、植物園、理化学研究所、大阪府立大・院・生命環境）
- ・シロイヌナズナにおけるフォトトロピン依存のフック展開について
嘉美千歳、飯野盛利（大阪市大・院・理、植物園）

総会（16:50～17:10）

懇親会（17:30～）

平成 25 年度 第 2 回近畿植物学会講演会

日時：平成 25 年 12 月 7 日（土）

場所：帝塚山大学 16 号館 6 階 16601 教室

共催：帝塚山大学人間環境科学研究所

プログラム：

特別講演 12：30～14：10

科学的思考力を育む学生実験の開発 II、小野裕剛（慶応大）

ユリ科植物の系統分類学、田村実（京都大・院・理）

植物の抗重力反応機構、保尊隆享（大阪市大・院・理）

一般講演 14：20～16：50

1. シロイヌナズナ純系 T-DNA 挿入ラインを用いた細胞壁物性制御遺伝子の探索

○馬淵敦士、曾我康一、若林和幸、保尊隆享（大阪市大・院・理）

2. シロイヌナズナ表皮細胞における力学的刺激に応答した細胞質ゾル蛋白質の動態変化

小林幹康 1、YU, Zhanqin1、鈴木友美 1、細川陽一郎 2、○長谷あきら 1（1 京都大・院・理、2 奈良先端大・物質創成）

3. 過重力下におけるヒメツリガネゴケの光合成能力と形態変化

○竹村香里 1、蒲池浩之 2、久米篤 3、藤田知道 4、唐原一郎 2、半場祐子 1（1 京工繊大・院、2 富大・院・理、3 九大・院・農、4 北大・院・理）

4. 接触形態形成と光合成

○田嶋允貴 1、諸岡花奈 1、森さやか 1、野中菜乃美 2、野村美佐子 2、酒井敦 2（1 奈良女子大・院・人間文化、2 奈良女子大・理）

5. 琵琶湖に隔離されたハマエンドウと海浜集団との間における適応的な種内分化

○大槻達郎 1、森泉 2、且原真木 2、瀬戸口浩彰 1（1 京都大・院・人環、2 岡山大・植物研）

6. 落葉性木本植物のリン酸分配・転流機構の解析

○栗田悠子 1、馬場啓一 2、大西美輪 1、姉川彩 1、小菅桂子 1、七條千津子 1、石崎公庸 1、深城英弘 1、三村徹郎 1（1 神戸大・院・理・生物、2 京都大・生存研）

7. 緑藻 *Botryococcus braunii* のコロニー形成

○野口哲子、鈴木玲子、宇野由紀（奈良女子大・理）

8. シイタケのフェノールオキシダーゼ発現系と β -O-4 型リグニンモデル化合物の分解

○中塚猛士、種坂英次、吉田元信（近畿大・院・農）

9. 植物免疫における MAP キナーゼカスケードへのシグナル伝達機構の解明

○山田健太 1、山口公志 1、石川和也 1、吉村悠矢 1、杉下亮丞 1、吉村智美 1、多田安臣 2、市村和也 2、川崎努 1（1 近畿大・院・農、2 香川大・農）

10. 植物免疫における Anamorsin の機能解明

○吉村悠矢、山口公志、清瀬嵩人 1、吉村智美、川崎努（近畿大・院・農、1 近畿大・農）

総会 17:00～17:30

懇親会 17:40～

平成 24 年度 近畿植物学会講演会

日時：平成 24 年 11 月 10 日（土）

場所：近畿大学農学部新教室棟 211 教室

プログラム：

12：30～13：50、特別講演

青木健一郎（慶応大学）「科学的思考力を育む学生実験の実現に向けて」

川崎努（近畿大学）「植物免疫と病原菌の感染戦略」

14：00～17：15、一般講演

1. 吸器嚢膜上における宿主エンドソーム制御因子 RAB5 の機能制御がうどんこ病菌感染確立に重要な役割を果たす

稲田のりこ（奈良先端大・バイオ・植物グローバル）

2. イネの根の病害抵抗性発現におけるジャスモン酸の機能の解析

清水崇史（大阪市立大・院理）

3. シイタケ子実体形成に関与する新規遺伝子について

○小林幸志朗、増田智士、種坂英次、吉田元信（近畿大・院農）

4. Pb によるシロイヌナズナ及びイネ芽ばえの成長阻害機構

○小糸和子、籠谷裕衣、伊豆本和哉、曾我康一、若林和幸、下中智美、益田晴恵、保尊隆享（大阪市大・院理）

5. 過重力環境下におけるアズキ上胚軸の成長と浸透調節

○張岩、曾我康一、若林和幸、保尊隆享（大阪市大・院理）

6. ショウジョウバカマ属（シュロソウ科）の分類

布施静香（兵庫県立人と自然の博物館）

7. 屋久島高地におけるコナスビ（サクラソウ科）のミニチュア化現象

○掛澤明弘 1、篠原渉 2（1 京都大・院・理・植、2 香川大・教育・理科）

8. フェムト秒レーザーを用いた避陰応答の解析

小林淳子、細川陽一郎、望月伸悦、○長谷あきら（京都大・院理）

9. Phototropin 2-dependent co-localization of mitochondria with chloroplasts in *Arabidopsis thaliana* mesophyll cells

ISLAM Md Sayeedul、TAKAGI Shingo（Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, Osaka University）

10. タバコ植物における purine permease like transporter の機能解析

○加藤 啓太 1、庄司 翼 1、土反 伸和 2、橋本 隆 1（1 奈良先端大・バイオ、2 神戸薬科大・生）

1 1. アオミドロにおける傷害応答：原形質の集積

堀川千尋、新免輝男（兵庫県立大・生命）

1 2. アオミドロの接合

○池谷仁里、石田一馬、中瀬琢登、堀川千尋、岩田和佳、菓子野康浩、園部誠司、新免輝男（兵庫県立大・院生命）

1 3. イカダケイソウの滑走運動機構

○山岡望海 新免輝男 園部誠司（兵庫県立大・院生命）

17：20～17：40、総会

17：50～ 懇親会

2011年 日本植物学会近畿支部大会

日付；平成23年12月24日（土）午後1時30分～5時過ぎ

場所；キャンパスプラザ京都（京都駅前）2階ホール

○日本植物学会近畿支部総会（13:30-14:20）

議題

平成22,23年度活動及び会計報告

日本植物学会近畿支部から近畿植物学会への移行

その他

○ミニシンポジウム「植物学の多様な側面：分類、生態、生理」（14:30-16:00）

14:30-15:00 「大きく変更された国際植物命名規約―第18回国際植物学会議の報告」

永益 英敏（京都大学・総合博物館）

15:00-15:30 「ボルネオ熱帯雨林の樹木群集の生態」

伊東 明（大阪市立大・理学研究科）

15:30-16:00 「ゴマ種子の初期成熟過程で発現する遺伝子」

吉田 元信（近畿大学・農学部）

○一般講演（16:10-17:10）

16:10-16:25 「イカダケイソウの滑走運動機構」山岡望海、他（兵庫県立大・院・生）

16:25-16:40 「分裂位置決定機構におけるアクチンの機能」在間健悟、他（兵庫県立大・院・生）

16:40-16:55 「オオシャジクモにおける酸化的リン酸化脱共役剤の脱分極作用」新免輝男（兵庫県立大・院・生）

16:55-17:10 「日本産ホシクサ属（ホシクサ科）の分子系統と分類学的再検討」絹川裕貴、他（京都大・院・理）

2010年 支部大会

時間；平成22年11月20日（土）午後1時30分～6時頃

場所；京都大学大学院北部構内 理学部2号館第1講義室

プログラム；

ミニシンポジウム「陸上植物はどのようにして進化したのか？その原理に迫る」

13:30-14:00 「ユリ科植物の系統」

田村 実 （京大・理）

14:00-14:30 「苔類ゼニゴケで探る陸上植物の多様性と普遍性の分子 基盤」

河内 孝之 （京大・生命）

14:30-15:00 「自然条件下での遺伝子機能解析：季節を測る分子メカニズム」

工藤 洋 （京大・生態セ）

15:00-15:15 総合討論

一般講演

16:00-16:15 「イカダケイソウの滑走運動機構におけるアクチンの役割」

山岡 望海 1、末友 靖隆 2、新免 輝男 1、園部 誠司 1 （1 兵庫県立大・理・生命科学、2 岩国市立ミクロ生物館）

16:15-16:30 「プロモキシニルによる膜脱分極誘導の機構」

新免 輝男 （兵庫県立大・院・生命）

16:30-16:45 「植物細胞における小胞体流動メカニズムとその意義」

上田 晴子 1、横田 悦雄 2、朽名 夏磨 3、嶋田 知生 1、田村 謙太郎 1、馳澤 盛一郎 3、新免 輝男 2、西村 いくこ 1 （1 京大・院理，2 兵庫県立大・院・生命理学，3 東大・院・新領域）

17:00-17:15 「青色光受容体フォトトロピンの光感受性は光受容ドメインの活性化状態の寿命で決まる」

嘉祥寺谷 幸子、岡島 公司、徳富 哲 （大阪府立大・院理）

17:15-17:30 「フィトクロム A の特殊機能に関わるドメイン構造」

小野 雄也、岡 義人、G. Toledo-Ortiz、小鍛冶 敬生、望月 伸悦、長谷 あきら （京大・院理・生物科学）

17:30-17:45 「シロイヌナズナの葉表皮細胞における光依存的な伸長制御の解析」

小川 雄右、高木 慎吾 （大阪大学・院理・生物科学）

17:45-18:00 「S4 タンパク質 Sll1252 のシアノバクテリア *Synechocystis* 6803 光合成電子伝達系における機能」

井上（菓子野）名津子 1、菓子野康浩 1、織井秀文 1、佐藤和彦 1、寺島一郎 2、Himadri B. Pakrasi 3 （1 兵庫県立大・院・生命、2 東大・院・理、3 Washington U in St. Louis, Biology）

18:00～ 懇親会

2009年 支部大会

時間；2009年11月14日（土）12:30～18:00

場所；神戸大学瀧川記念学術交流会館

プログラム；

1. 特別講演 12:30～15:00

「植物の光応答機構—光受容体理解に向けた3つのアプローチ」 長谷あきら（京都大学大学院）

「植物ゲノムの流動性とプロモーターのダイナミズム —オルガネラから核への遺伝子移動はどのように生じるのか？—」 小保方潤一（京都府立大学）

「アカモクの形態形成を制御する光周性と青色光反応」 吉川伸哉（福井県立大学）

「アオミドロを用いた形態形成の研究」 池谷仁里（京都大学）

2. 一般講演 15:20～17:15

赤色光応答性 PR1 様遺伝子 FPL はエチレンに依存し根の組織特異的に反応する

大西沙季1、奈良久美2（1 奈良女子大・院・生物、2 奈良女子大・理・生物）

アオミドロの接合とレクチン結合物質

中瀬琢登1、池谷仁里2、岩田和佳1、園部誠司1、新免輝男1（1 兵庫県立大・院・生命、2 京都大・生存基盤科学研究ユニット）

アオミドロにおける表層微小管の配向変化の解析

岩田和佳、新免輝男（兵庫県立大・院・生命）

オオシヤジクモのイオン輸送に対するプロモキシニルの影響

新免輝男、原島眞美（兵庫県立大・院・生命）

側根形成開始におけるオーキシン誘導性 LBD/ASL メンバーの機能解析

郷 達明、三村徹郎、深城英弘（神戸大・院・理）

キャピラリー電気泳動質量分析装置（CE-EST-QTOF）を用いたシロイロナズナのメタボローム解析

姉川 彩 1,2、大西美輪 1,2、七條千津子 1,2、深城英弘、三村徹郎 1,2（1 神戸大・院・理、2JST）

局所・大局同時並行タイムラプスシステムを使用した植物体と細胞のライブ観察の可能性の検討

玉置大介 1,2、猿渡 徹 1,2、峰雪芳宣 1,2（1 兵庫県大・院・生命、2JST・先端計測）

3. 総会 17:15～

4. 懇親会 18:00～ 神戸大学生協 2F

2008年 支部大会

日時:12月13日(土)13:00-18:00

場所:神戸大学理学部Z棟201

出席者:58名

1. 特別講演

「真核生物の分類大改変：植物はどこへ行くのか」中山 剛（筑波大学）

「植物における左右性：表層微小管の配向制御から見えてくるもの」橋本 隆（奈良先端科学技術大学院大学）

2. 一般講演

「ユーグレナの細胞膜内在性タンパク質 IP39 の構造と機能」

洲崎敏伸（神戸大・院理・生物）

「和歌山県田辺湾におけるアマモの生育」

大南真緒 1、中島敦司 2（1 和歌山大・院・システム工学、2 和歌山大・システム工学）

「水性植物ヒルムシロ属における高温馴化能の種差の遺伝的背景は？」

天野百々江 1、飯田聡子 2、小菅桂子 3（1 神戸大・院理・生物、2 神戸大・内海域、3 神戸大・遺伝子実験センター）

「オオシャジクモにおけるアルカリバンド形成の膜電位依存性」

新免輝男、萬代由紀子（兵庫県立大・院・生命理学）

「花粉管における透明層形成の制御機構」

佐藤仁勇、新免輝男（兵庫県立大・院・生命理学）

「シロイヌナズナ葉肉細胞プロトプラストの葉緑体の配置に及ぼす二酸化炭素の影響」

石田 泰浩、高木 慎吾（大阪大・院理・生物）

「球状の小枝を持つシャジクモ *Chara inflata* の形態形成に関する研究」

岩田和佳 1、吉田勝久 2、新免輝男 1（1 兵庫県立大・院・生命理学、2 神戸大・院理・生物）

「タバコ培養細胞を用いた表層微小管構築制御機構の研究」

川端恭平、高松江梨子、岩田和佳、新免輝男、園部誠司（兵庫県立大・院・生命理学）

「緑藻アミミドロの遊走子形成時における隔膜構築機構の細胞学的解析」

田中学、幡野恭子（京都大・院・人環）

「シロイヌナズナ・カタニン変異体の成長と形態に対する重力の影響」

樋口紗世子 1、松本翔平 1、曾我康一 1、若林和幸 1、加藤壮英 2、橋本隆 2、保尊隆享 1（1 大阪市大・院理・生物、2 奈良先端大・バイオ）

「遠心顕微鏡を用いた過重力中のアミロプラスト動態解析」

豊田正嗣、田坂昌生、森田美代（奈良先端大・バイオ）

「シロイヌナズナにおける液胞膜マイクロドメインの解析」

吉田勝久 1、大西美輪 1、深尾陽一郎 2、濱地康平 1、林文夫 1、深城英弘 1、前島正義 3、

三村徹郎 1 (1 神戸大・院理・生物、2 奈良先端大・バイオ、3 名古屋大・農)

「シロイヌナズナにおける 2 つの Rab5 活性化因子の機能解析」

郷達明 1*、砂田麻里子 1、上田貴志 1、中野明彦 1, 2 (1 東京大・院理系, 2 理化学研究所・基幹研、* (現所属) 神戸大学・院理・生物)

3. 総会

4. 懇親会 18:30～

2007 年 支部大会

日時:12 月 1 日(土) 13:30-18:00

場所:大阪大学(豊中キャンパス)・待兼山会館・会議室

出席者:46 名

1. 講演

「褐藻コンブ類の進化と分類に関する最近の動向」

川井浩史(神戸大学・内海域環境教育研究センター)

「葉における CO₂ 拡散抵抗と植物の水利用効率との関係」

宮沢真一(地球環境産業技術研究機構(RITE)・植物研究グループ)

2. ショートトーク

「イネ開花制御における RFT1 の機能解析」

小宮怜奈、池上颯子、玉置祥二郎、横井修司、島本功(奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス)

「アクチベーションタギング法による植物の形態形成に関する新規遺伝子の探索」

興津奈央子、柿本辰男(大阪大学・院理)

「葉の形態形成を制御する LONGIFOLIA1 遺伝子と相互作用する遺伝子の解析」

辻村香織、柿本辰男(大阪大学・院理)

「二次肥厚形成におけるサイトカイエンの役割の解析」

北野美保、宮脇香織、柿本辰男(大阪大学・院理)

「アオミドロにおける仮根形成機構:基質による仮根形態の制御」

池谷仁里、園部誠司、新免輝男(兵庫県立大学・院生命理学)

「アオミドロにおける浸透調節」

岩田和佳、新免輝男(兵庫県立大学・院生命理学)

「核分裂に伴うゴルジ装置の複製」

東浦裕子、野口友里、野口哲子(奈良女子大学・理)

「高等植物の細胞分裂中期における微小管構築にかかわる因子の探索」

田中悠哉(大阪大学・院理)

「成熟葉への温度処理が若い葉の発生と光合成に及ぼす影響」

山内俊 1、新谷考央 2、野口航 2、寺島一郎 2(1 大阪大学・院理、2 東京大学・院理)

2006 年 支部大会

日時:11 月 25 日(土)14:00~18:30

場所:大阪大学(豊中キャンパス)待兼山会館会議室

出席者:約 50 名

1. 講演

「木の葉のバイオメカニクス」

小林 秀敏 (大阪大 基礎工)

「イネの生理学」

飯野 盛利 (大阪市大・植物園)

2. ショートトーク

「シロイヌナズナにおけるフィトクロムによる細胞質運動性の制御」 櫻井一尾里納美,小澤武,林晃之,高木慎吾 (阪大・理)

「葉緑体局在タンパク質 CAS による気孔閉鎖運動の制御」 野村裕也,小森禎子,中平洋一,椎名隆(京都府大・人間環境)

「不等毛類 *Schizochytrium* の DHA 合成酵素の細胞内局在」 森田詠子,鍵和田聡,野口哲子 (奈良女大)

「タバコ培養細胞の紡錘体形成におけるクラスリンの役割」 田原寛,横田悦雄,峰雪芳宣,新免輝男 (兵庫県立大)

「植物-微生物共生系における微生物の侵入機構:*Gunnera-Nostoc* の場合」 上田英二 (大阪府大・理)

「冠水によるアズキ上胚軸の浸透調節抑制機構」 井上勇樹,大梅健太郎,曾我康一,若林和幸,保尊隆享 (大阪市大)

「オオシャジクモを用いた傷害応答の電気生理学的解析」 新免輝男 (兵庫県立大・生命理)

「ツワブキの陸生型と溪流型における葉の形態と光合成特性」 野村尚史 1,瀬戸口浩彰 2,高相徳志郎 1 (1 地球研,2 京都大)

「コナラの繁殖期における枝の位置による機能分化」 迫立浩貴 1,曾根恒星 2,鈴木新 2,野口航 2,寺島一郎 2 (1 阪大・理 2 東大・理)

2005 年 支部大会

日時: 2005 年 11 月 26 日(土) 13:40~17:30

場所: 奈良市男女共同参画センター “あすなら” 大会議室(ホテル日航奈良 2 階)

特別講演:

「葉緑体シグマ因子の機能分担はどこまで分かったか」

椎名隆(京都府立大・人間環境学部)

「根毛は根粒形成にどのような役割を果たしているのか?」

林誠(大阪大院・工学研究科)

一般講演:

「アオミドロの表層微小管に対する遠赤外線の影響」

岩田和佳(摂南大→兵庫県立大院・生命理)

「植物微小管に対する n-プタノールの作用」

平瀬愛、演田隆宏、新免輝男、園部誠司(兵庫県立大院・生命理)

「クラスリンの細胞分裂における役割」

田原寛、園部誠司、新免輝男、横田悦雄(兵庫県立大院・生命理)

「ビリンのカルシウム依存的なアクチンとの相互作用」

横田悦雄、新免輝男(兵庫県立大院・生命理)

「光合成、原形質流動、イオン輸送の協調による高次機能の発現:シャジクモ類におけるアルカリバンドの形成」

新免輝男、松本佳恵、正宗明桂、菓子野康浩、佐藤和彦(兵庫県立大院・生命理)

「クローナル植物の成長様式のシミュレーションによる推定」

吉野耕平(大阪大院・理)

「外生菌根菌の隠蔽種と宿主特異性について」

佐藤博俊(京都大院・理)

「ササユリの地理的変異と系譜的關係」

西村秀洋 1・渥美茂明 2(1 大阪府立城山高、2 兵庫教育大・自然)

「わが国在来カンキツ類の遺伝資源保存と実験生物としての利用」

仁藤伸昌 1、伊東卓爾 1、松川哲也 1、田中智浩 1、長沢和貴 1、我藤雄 2(1 近畿大・生物理工、2 近畿大・附属農場湯浅農場)

2004年 支部大会

日時: 2004年11月27日(土) 13:40～

場所: 奈良市男女共同参画センター"あすなら"大会議室(三井ガーデンホテル2階)

特別講演:

「植物の光受容体のシグナル伝達機構」

長谷あきら(京都大院・理学研究科)

「葉の環境馴化に見られる可塑性」

寺島一郎(大阪大院・理学研究科)

一般講演:

「高等植物ミオシン XI の 35nm ステップには長いネックが必要である」

富永基樹 1、小嶋寛明 1、横田悦雄 2、中森鈴奈 1、倉富敏史 3、新免輝男 2、大岩和弘 1,2(1 関西先端研究センター・生体物性、2 兵庫県立大・生命理、3 長岡技科大・生物機能)

「青色光と緑色光によって光変換する新規光受容体とシアノバクテリアの走光性機構」

吉原静恵(大阪府立大学・先端科学研究所)

「単細胞緑藻 *Botryococcus braunii* の炭化水素生成期と細胞壁形成期のゴルジ体・トランスーゴルジネットワークの解析」

森谷真名、野口哲子(奈良女子大・理)

「キシログルカンの高分子化と細胞肥大—エチレンと微小管破壊剤の効果」

山口彩、曾我康一、若林和幸、保尊隆事(大阪市大・院理)

「藻類アオミドロの表層微小管に対する重水の影響」

岩田和佳(摂南大薬学部)

「陸に上がる水草と海に入る水草の比較生態生理」

飯田聡子 1、小菅桂子 1、角野康郎 2(1 神戸大学遺伝子実験センター、2 神戸大学・理)

「ニホンジカによる被食圧がミヤコザサに及ぼす影響—小型化と窒素量。光合成能力との関係について—」

森さやか 1、佐藤宏明 2、柴田叡弐 3、酒井敦 2(1 奈良女子大・人間文化,2 奈良女子大・理、3 名古屋大院・生命農)

「分子情報を活用したコケ植物の種の認識と多様性」

美和秀胤、村上哲明(京都大・理)

2003 年 支部大会

日時: 2003 年 11 月 15 日(土) 13:00~

場所: 奈良女子大学 大学会館 2 階

特別講演:

「光合成電子伝達を考えなおす」

鹿内利治(奈良先端大・バイオサイエンス)

「被子植物の花の進化」

戸部 博(京都大・理)

一般講演:

「過重力によるシロイヌナズナの成長阻害とチューブリン遺伝子発現量の増加」

齋藤有香・曾我康一・若林和幸・保尊隆享(大阪市大院・理)

「シロイヌナズナ培養細胞からの IntaCt 液胞の単離と、液胞膜タンパク質のプロテオーム解析」

大西美輪 1)・鳴岡泰世 2)・富澤健一分 2)・三橋尚登 1)・横田明穂 3)・三村徹郎 1) (1)

奈良女子大・理、2)地球環境産業技術研究機構、3)奈良先端大)

「分裂酵母における細胞内局在を指標とした減数分裂関連タンパク質の検索と解析」

谷有希子・中村太郎・下田 親(大阪市大院・理)

「石油資化酵母 *Candida tropicalis* の菌糸形成に関わる遺伝子制御—MAP キナーゼ関連遺伝子の同定—

伊藤友香、岩口伸一、鈴木孝仁(奈良女大・理)

「フィトクロムによるジャスモン酸生合成遺伝子 (AOS) 遺伝子の発現調節

芳賀 健・飯野盛利(大阪市大院・理・附属植物園)

「オイルボディ—構成タンパク質の免疫学的解析」

大舟智之・吉田元信(近畿大・農)

「オオシャジクモにおけるアルカリバンドの形成機構」

新免輝男・米村理子・根来美央(姫工大院・理)

「オオセキショウモ表皮細胞における青色強光によって誘導される葉緑体逃避運動とアクチン繊維束再編成:フラビン蛋白質阻害剤の影響」

櫻井納美・高本慎吾(大阪大院・理)

「原始的単子葉類であるチシマゼキショウ属(チシマゼキショウ科、広義ユリ科)の分子系統と分類学的再検討」

石井孝明・田村 実(大阪市大院・理)

「日本沿岸におけるワカメ個体群の遺伝的多様性とワカメ属内の種間関係について」

上井進也 1)、新井章吾 2)、小亀一弘 3)、川井浩史 4) (1)北大・北方生物圏、2)海藻研究所、3) 北大・理、4) 神戸大・内海域環境教育センター)

「植食性昆虫の mtDNA 多型から照葉樹林の動きを見る」

青木京子 1)、加藤 真 2)、村上哲明 1) (1)京大・院理、2)京大院・人環)

2002 年 支部大会

日時: 11 月 30 日(土)13:30-18:00

場所: 奈良女子大学 大学会館 2 階

一般講演:

「グンバイヒルガオの繁殖戦略」

奥井智子(奈良女子大・人間文化)、古川昭雄(奈良女子大・共生科学センター)

「THE EFFECT OF HAZE O TROPICAL PIONEER SPECIES」

Tay Ai Chen, Akio Furukawa(奈良女子大・理)

「ソテツ雌性配偶体成長へ花粉に関わり」

河野真澄 1、東順一 2、戸部博 1、高相徳四郎 3(1 京都大・院・理、2 京都大・院・農、3 琉球大・熱性研)

「日本産イチジクとイチジクコバチの分子系統解析」

東 浩司、蘇 智慧(J T 生命誌研究館)

「ソクシンラン（キンコウ科ソクシンラン属）の遺伝文化」

近藤久実、田村実（大阪市大・院・理）

「ナチシケシダの染色体数および葉緑体DNAに基づく種分類」

篠原 歩、村上哲明（京大・院・理）

「光独立栄養培養細胞における強光ストレス適応機構」

辻 容子、武田恵美（大阪市大・理）

「海産紅藻類のクロロフィルdについて」

村上昭男（神戸大・内海域センター）

「クロロフィルdを腫瘍な色素とするシアノバクテリア, *Acaryochloris marina* の光合成特性」

三村 守1、宮下英明1、坂和貴洋2、（1 京都大・院・人間、2 山口大・院・理工）

「細胞接着に関与するムチン型糖鎖合成関連遺伝子群の構造機能解析」

桜木直也、吉田元信（近畿大・農）

「アベナ及びトウモロコシ芽生え細胞壁画分に含まれるアミラーゼの精製と特製」

宇野久仁子、曾我康一、若林和幸、保尊隆享（大阪市大・院・理）

「アオミドロの仮根分化：レクチン結合物質の分泌とカロール様物質の合成」

山田新也、井上尚子、園部誠司、新面照男（姫路工大・院・理）

「オオセキショウモ葉細胞膜画分のCa²⁺/H⁺対抗輸送活性」

原田明子1、高木慎吾2（1 理研、2 大阪大・院・理）

「シュートの重力屈性変異体 *sgr2* をもちいた分子遺伝的解析」

加藤壮英、倉増紀予子、田坂昌生（奈良先端大・バイオサイエンス）

2001年 支部大会

（京阪神地区植物細胞生理学談話会共催）

日時：2002年2月16日（土）午後1時30分より

場所：大阪市立大学文化交流センター・ホール（大阪駅前第3ビル16階）

講演：

1) 「ハウレンソウ葉肉細胞における葉緑体とアクチン繊維との相互作用」

熊谷智明1、櫻井納美1、横田悦雄2、新免輝男2、高木慎吾1

（大阪大・院・理1、姫路工大・理2）

2) 「アズキ上胚軸表皮細胞における表層微小管配向変化に対するセルロース合成阻害剤の影響」

藤本貴之、下地由美、福井啓太、高木慎吾（大阪大・院・理）

3) 「アオミドロの仮根形成における細胞骨格の役割」

吉田勝久、井上尚子、新免輝男（姫路工大・理）

4) 「過重力環境下で発現量に変化するシロイヌナズナ遺伝子の探索」

吉岡里津子1、曾我康一1、若林和幸1、竹葉剛2、保尊隆享1

(大阪市大・院・理 1、京都府大・人間環境 2)

2000 年 支部大会

日時：2001 年 2 月 17 日(土) 13：30～

場所：大阪市立大学文化交流センター・ホール（大阪駅前第 3 ビル 16 階）

講演：

1) 「水ストレス及び塩ストレス下での植物細胞の浸透圧、あるいは水ポテンシャルを測定するための凝固天候下方と蒸気圧降下法の理論と実際と問題点」

清沢桂太郎（大阪大・院・基礎工）

2) 「オジギソウの活動電子と情報伝達」

田中清輝、大西俊四郎、栗岡豊（近畿大・院・工）

3) 「光電位反応における光合成に依存した細胞膜H⁺-ATpaseの活性促進」

原田明子、高木慎吾（大阪大・院・理）

4) 「イネの芽ばえの回旋運動：その性質、及び光と重力の影響」

吉原毅、飯野盛利（大阪大・院・理）

5) 「アズキ上胚軸の回旋運動：表層微小管の配向変化及びオーキシンの関係」

高野俊彦、高木慎吾（大阪大・院・理）

6) 「コウキクサにおける根の成長のジベレリン制御」

稲田さやか、新面輝男、（姫路工大・理）

7) 「スズラン科（広義ユリ科）の系統分類

山下純、田村実（大阪市立大・院・附属植物園）

1999 年 支部大会

日時: 2000 年 4 月 8 日

場所: 大阪市立大学・理・植物園

講演:

1. 「日本産アリドオシ属(アカネ科)の分類学的研究」

内貴章世(京大・院・理)

2. 「タイ国カオヤイ国立公園におけるサイチョウの種子散布の特徴」

北村俊平(京大・院・理)

3. 「プロテインキナーゼ分子からみた藻類から植物への道程」

南森 隆司(神戸大・農)

4. 「緑藻細胞のゴルジ体系に關与する細胞骨格系」

田中靖子(奈良女子大・理)

5. 「表層微小管構築における微小管付随タンパク質の役割」
国部誠司(姫路工大・理)
6. 「植物細胞におけるアクチンフィラメントの束化機構」
横田悦雄・富永基樹・新免輝男(姫路工大・理)
7. 「葉緑体形質転換によるプラスチド遺伝子の発現制御の研究」
椎名 隆(京都府立大・人間環境)

1998年 支部大会

日時: 1999年4月10日(土)13:30~16:40

場所: 大阪市立大学・理・植物園

講演:

1. 「モクレン科植物における花の匂いの進化—化学分析と分子系統解析—」
東 浩司・河野昭一(京大・院・理)
2. 「花粉管および根毛のアクチン系細胞骨格構築におけるタンパク質リン酸化の役割」
檜原健一郎・横田悦雄・新免輝男(姫路工大・理)
3. 「シロイヌナズナの胚上部領域のパターン形成機構について」
相田光宏(奈良先端・バイオサイエンス)
4. 「アミミドロ遊走子の網状群体形成に関わる分子の解析」
幡野恭子(京大・総合人間)
5. 「第四紀の環境変動の規模と頻度が植生や植物相に与えた影響」
南木睦彦(流通科学大)

特別講演:

「いわゆる藻類の系統」

堀口健雄(北大・理)(北海道支部会員)

1997年 支部大会

日時: 1998年3月7日(土)13:30~

場所: 大阪市立大学文化交流センター・ホール(大阪駅前第3ビル16階)

講演 I

- 1) シャクジモ細胞の膨圧測定
岡崎芳次、浅井一視、田沢仁、岩崎尚彦、(大阪医大・生物、福井工大・応用理化学)
- 2) 単子葉植物オモダカ亜綱の系統と進化的多様化
唐崎千春、河野昭一、(京都大・院・理)

3) コミカンソウ亜科(トウダイグサ科)の分類と守秘の比較解剖学
徳岡徹(京都大・院・人間)

4) 植物の保全と遺伝多様性--加古川市北長池のヒメコウホネを例に?
鈴木武(姫路工大/兵庫県立人と自然の博物館)

講演 II

「原形質流動の分子機構:アクチンによる軌道形成とミオシンモータの滑り運動」
横田悦雄、富永基樹、五十嵐久子、園部誠司、新免輝男(姫路工大・理)

1996年 支部大会

日時: 1997年3月1日(土)

場所: 大阪駅前第3ビル16階

大阪市立大学文化交流センター・ホール

講演:

1) 「シロイヌナズナの花の突然変異体閥5JAおよびLJ2のクローニング」石
黒澄衛、影山奈津子、武田憲昌、酒井智子、岡田清孝(京都大・院・理)

2) 「植物細胞におけるタンパク質の糖鎖と分泌」

小泉望、佐野浩(奈良先端大・遺伝子)

3) 「細胞性粘菌の多細胞体形成におけるMAPキナーゼの役割」

前田みね子(大阪大・理)

4) 「無融合生殖種シロバナタンポポはどのように誕生したか」

西野貴子(大阪府大・総合科学)

1995年 支部大会

日時: 1996年3月2日(土)

場所: 大阪市立大学文化交流センター

講演:

1) 「シロイヌナズナ sgr 変異体を用いた花茎・胚軸の重力屈性反応機構の解析」

深城英弘、山内義朗、藤澤久雄、田坂昌生(京都大・理)

2) 「子葉・頂芽分裂組織の形成機構の解析??シロイヌナズナ cup 変異体を用いて」

石田哲也、相田光宏、藤澤久雄、田坂昌生(京都大・理)

3) 酵母の細胞極性に関わるタンパク質の機能と高等植物における相同タンパク質の検索

坂口修一(奈良女子大・理)

4) 「trn 遺伝子の制限酵素地図によるアマドコロ属(ユリ科)の分子系統学的研究」

田村実(大阪市立大・理)

1994年 支部大会

1995年3月4日(土)午後1:30~4:15
大阪梅田駅前第3ビル16階
大阪市立大学文化交流センターホール

1.講演

- 1) 「細胞性粘菌の柄細胞の分化」
岡本浩二(京都大・理)
- 2) 「葉緑体の光定位運動」
馨夏静、柳政和、高木慎吾、永井玲子(大阪大・理)
- 3) 「ヒサカキの性表現と果実サイズについて」
熊代直生*、北元敏夫、高須英樹(和歌山大・教育)
- 4) 「キンボウゲ科の形態と分類」
田村道夫(近畿大・生物理工)

1993年 支部大会

日時：1994年3月5日(土)13:30~
場所：京都大学理学部新2号館セミナー室(218号室)

- 1) 「イネ水中芽生えの酸素適応過程における活性酸素消去系の発達」
丑丸敬史(静岡大・理) 辻秀夫(京都大・理)
- 2) 「植物細胞における trans-Golgi network」
野口哲子(奈良女大・理)
- 3) 「フェレラ酸による洋葉鞘細胞壁伸展性の制御機構」
岩林和幸、保尊隆享、神阪盛一郎(大阪市大・理)
- 4) 「エンレイソウ属植物の分子系統学的研究」
加藤英寿、河野昭一(京都大・理)
- 5) 「熱帯雨林の植物の繁殖過程における動植物の相互作用について」
百瀬邦泰(京都大・生態研センター)